

## 共産党の訴えに注目

軍拡大合唱の中、「大軍拡反対なら共産党しかない」との声がメディアでも出ています。TBSラジオ「森本毅郎スタンバイ!」(5月30日放送)で山田恵資氏(時事通信)は、自民党ばかりか野党も軍事費増額を「争点にしない」と主張しているとして、「反対している人は誰に入れればいいのか」という話になる」と指摘。森本氏は「これはもう共産党しかないんじゃないか」と発言しました。



共産党のポスター

## 「軍事対軍事」で平和つukれない

共産党の志位和夫委員長は、「軍事対軍事で平和がつかれるでしょうか。日本が軍拡で備えれば、相手も軍拡を加速し、『軍事対軍事』の悪循環に陥る。これこそ戦争への道」と指摘。この道は①「専守防衛」投げ捨て=自衛隊が米軍と一体になり「敵基地攻撃能力」を使って攻め込み、

相手の報復を招く②軍事費の大増額=財源は消費税増税、社会保障削減。暮らしを押しつぶす一と告発しました。

志位氏は「戦争を起こさなため知恵と力をつくすのが政治の役割」と強調、外交努力で東アジアに地域のすべての国を包み込む平和の枠組みをつくるよう力説しました。

折り目



# 9条で平和 VS 改憲・大軍拡

共産党

翼賛勢力

### ■「安全保障」政策で対決点鮮明に

翼賛勢力	日本共産党
<p>◇軍事費◇ 自民、維新は国内総生産(GDP)比2%以上を念頭に軍事費増を明記。公明、国民も軍事費増の必要性を主張</p> <p>◇敵基地攻撃◇ 自民、国民は「敵基地攻撃能力=反撃力」の保有を明記。維新は「積極防衛能力」の構築を主張</p> <p>◇9条改憲◇ 自民、維新は「自衛隊明記」のための9条改憲を掲げ、国民も議論を進めると主張。公明は9条に自衛隊明記を「検討」</p>	<p>ウクライナ危機に乗じた「敵基地攻撃能力」の保有、軍事費の2倍化、9条改定などに断固反対。「力対力」でなく、憲法9条を生かした平和外交で東アジアと世界の平和をつくる</p>

ウクライナ危機に乗じて「力対力」で戦争への危険な道を進むのか、「外交による平和」をつくる道を進むのか—日本の命運を決める参院選(7月10日投票)まで1カ月弱。各党の政策・公約が出そろいました。自民党と公明党、日本維新の会、国民民主党の「翼賛勢力」は、日米同盟の「抑止力強化」

と軍事費増の大合唱です。軍事費2倍化や「敵基地攻撃能力」の保有などに断固反対し、「憲法9条を生かす平和外交」を掲げる日本共産党との対決が鮮明になっています。

## 日本共産党

(選挙期間中は配布できません)

制度解説

参院選挙  
投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書き、  
選挙区は「候補者の名前」で

政党名を  
と書きます  
参議院比例代表は政党名でも個人名でも投票できます

近畿民報

2022年6月 No.3 (第507号)  
発行/日本共産党国会議員団  
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号  
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115  
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。